

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67(八幡建設 2F)
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005
E-mail:rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
URL:http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 村土時男
副 会 長 : 和田英人
幹 事 : 水上成樹
公共イメージ : 川井昭司
会報担当者 : 松本英樹・河合 修

2019 年度国際ロータリー会長：マーク・ダニエル・マローニー (Decatur ロータリークラブ・米国)

2019 年度国際ロータリーテーマ：ROTARY Connects The World(ロータリーは世界をつなぐ)

<本日のプログラム>

第 2621 回 令和元年 7 月 25 日 第 4 木曜日
総会(平成 30 年度事業報告・会計報告)

<次回の予定>

第 2622 回 令和元年 8 月 1 日 第 1 木曜日
奉仕作業(中川原ベンチペンキ塗り)

<前回の記録>

第 2620 回 令和元年 7 月 18 日 木曜日
合同ガバナー公式訪問
(ホテル郡上八幡にて)

司 会 進 行 山川直保 SAA(郡上八幡 RC)

点 鐘 和田良一会長(郡上長良川 RC)

ソ ン グ 国歌「君が代」・奉仕の理想

特別出席者紹介 和田良一会長(郡上長良川 RC)
国際ロータリー第 2630 地区

ガバナー	辻 正敏様(津 RC)
地区代表幹事	井熊信行様(津 RC)
地区幹事	近澤太輔様(津 RC)
ガバナー補佐	深瀬 清様(各務原中央 RC)
地区大会実行委員長	西村昭彦様(津 RC)

会 長 挨 拶

・和田良一会長(郡上長良川 RC)



合同例会の準備を郡上八幡 RC の皆さんにして頂き、本当にありがとうございます。わがクラブの実行委員長が、こんなに楽で寂しいことはないと言っています。

でも、本当に喜んでおりました。ありがとうございました。皆さん今は昼食後で、これから一番眠たくなる大変な時間です。私が一番言いたいのは、辻ガバナーのお話がとても良いということです。一語一句聞き逃すことのないようにしっかり聞いて

て頂き、眠ることのないようにお願いします。ガバナーのお話でクラブがますます良くなり、またロータリアンとして心の糧になり一年間成長できると思いますので最後まで聞いて下さい。簡単ですが会長の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

・村土時男会長(郡上八幡 RC)



本日は足元の悪い中お越し頂き、辻ガバナー様、深瀬ガバナー補佐様、井熊地区代表幹事様、近澤地区幹事様、西村地区大会実行委員長様、本当にありがとうございます。

また先ほどは御指導ありがとうございました。また、郡上長良川 RC の皆様方におかれましては、先の 50 周年にお祝や踊り等で花を添えて頂きまして、立派に終えることができました。これも皆様方のおかげと感謝しております。

当クラブには今回紹介したい方がいらっしゃいます。この 10 月で 100 歳になられる方です。欠席もなく、この 40 年間私達を御指導下さり、紳士で、何事にも心を配って頂いた方です。御紹介いたします、大畑於左武さんです。見て頂いたとおり私よりお元気です。いつもこの郡上八幡 RC を引っ張って頂いております。他にも誇りに思う方がいらっしゃいます。運転免許を返納するからクラブに来られなくなるという方にはご本人の気持ちも伺って、私達も努力して何とか来て頂けるようにしたいと思っています。先ほども辻ガバナーに御相談させて頂きました。話は戻りますが、地区大会

には大畑さんも一緒に参加できたらと思っています。本日は郡上長良川 RC の皆様方、郡上八幡 RC の皆様方、雨の降る中ありがとうございました。これで挨拶とさせていただきます。

出席報告 和田英人クラブ奉仕委員長

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
38名(免除1名)	27名	7名	34名	91.9%

幹事報告 水上成樹幹事

- ・ガバナー事務所より「2019年度規定審議会での「出席」に関する重要な変更について」
 - ・関RCより例会変更のご案内
 - ・郡上市役所環境水道部環境課より、令和元年度郡上市環境団総会の開催について
- <拝受>
- ・桑名北RCより2019年度事業計画書

ニコBOX 竹内巧治ニコBOX担当責任者

- ・本日のガバナー公式訪問に対して。

ガバナー事務所様

- ・本日は宜しくお願ひします。 深瀬 清様
- ・本年度初の公式訪問で辻ガバナーのお供の幹事の方が緊張しているかもしれません。お世話になりに参りました。どうかよろしくお願ひ致します。

西村昭彦様

- ・本日は辻ガバナー様、深瀬ガバナー補佐様、井熊地区代表幹事様、近澤太輔地区幹事様、西村地区大会実行委員長様、ご苦勞様です。 村土時男
- ・辻ガバナー、深瀬ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。よろしくお願ひします。水上成樹
- ・ガバナー訪問合同例会に特別に紹介され感謝。今後共よろしく。 大畑於左武
- ・本日の公式訪問によるこそおいで下さいました。

大畑於左武

- ・本日はよろしくお願ひします。
畑中伸夫・羽田野優男・林 健吉・平岩憲政
岩出明喜・岩尾 誠・河合和也・河合 修
川井昭司・松本英樹・松森 薫・三原慎也
村井義孝・長尾信幸・西川 昇・大前正行
酒井智義・澤崎 茂・竹内巧治・田代東次郎
和田英人・渡邊 剛・山川直保・山下友幸

委員会報告 西川 昇情報担当責任者

本日のIDMのお知らせ

ガバナー卓話 地区ガバナー 辻 正敏様



改めまして、皆さんこんにちは。

大畑さんは、劔田ガバナーの時の地区大会で表彰をされましたね。ぜひ、私達の地区大会にもお越しください。本当にお元気で嬉しいです。他にビックリしたのが、和田会長の挨拶を聞いていて昨夜と全然変わっていないことです。実は、今日のこれが本番と知りながら、昨日の夜声を出し過ぎて、さっき龍角散を飲みましたが、まだ上手く声が出ないのでお聞き苦しいところがあるかもしれませんが、ご容赦頂きたいと思います。

郡上市というのは、2004年に合併してもの凄い大きな市になったんですね。調べたら1,030.75㎏ということで、岐阜県では高山に次ぐ面積なんですね。高山はもの凄く広くて2,177.6㎏もあります。相当広いです。去年、郡上長良川RCさんの40周年で郡上にお邪魔させて頂き、色々調べさせて頂きました。白山信仰や大日ヶ岳が長良川の源流だということで、岐阜の鵜飼は郡上がなければできていないということです。そういうことなので、もう少し威張ってもいいと思います。郡上おどりや白鳥おどりがあるので、今年は私も挑戦してみようと思います。それと面白いのが、明宝ハムと明方ハムです。食べ比べても分かりませんが、美味しいことは確かです。

ガバナーとして初めての公式訪問ということになりました。この2019-20年度ですが、国際ロータリーの会長マーク・ダニエル・マローニーさんのテーマは「ROTARY CONNECTS THE WORLD」ロータリーは世界をつなぐです。私達2630地区のテーマは「総天然色」が、これが非常にガバナーらしいテーマなんです。

マローニーさんは、2017-18年度に会員の減少が非常に激しかったということで、もの凄い危機感を抱かれています。増強や退会防止に掛ける思いには、非常に大きなものがあります。また、具体的な方法についても大きく踏み込んで話をされました。マローニー会長の最初の協調事項は、ロータリー自身を成長させましようということです。彼は「Grow Rotary」という言葉を使って表現しました。穴の開いたバケツにいくら水を入れても何も溜まらない、そんな状況ではないのか？という問いかけでした。そして、ロータリーを成長させるため色々なことをやりましよう。バケツをきちんと修復して、あるいはもう新しいバケツにしてみたらどうだろう。そういう必要があるのではないかと彼は熱く語りました。会員の減少というのは、組織として大変大きな問題です。職業分類がありますのでそれを強化をして、その分類に当てはまるような会員を増やす。あるいは、新しいクラブを作らなくてはならない。そして、子供達や若い人達を大切にしないといけないとあります。もう一つ、ロータリーのリーダーです。クラブの会長、幹事、各委員長さん。地区の私達のような立場の者。こういった人がリーダーシップを上手く発揮しようとした時、その道が少しでも通りや

すい道でないといけないと彼は言っています。どういふことか。ガバナーをやったら仕事ができませんが、会長をやったら仕事できません。こんなロータリーはおかしいと彼は言っています。そういふことが両立できるロータリーにしたいというのが彼の思いです。仕事をしながらロータリーができなければロータリーではない。家族・仕事・ロータリー、この3つのバランスが上手く取れるようにしないとけないと言っています。ロータリーを成長させましょうというのは、単に会員を増やそうと言っているではありません。組織を大きくしようと言っているわけでもありません。きちんと理念に基づいて続いていく「持続性」ということを言っています。公共イメージの向上、ロータリーの認知度の向上もその一つです。先ほども触れましたが、子供達や若い人達の結びつき・繋がりが非常に大切なことだと。今年の国際協議会がサンディエゴでありました。国際協議会史上初めて、世界中から60人のローターアクトが正式に招待されました。そのうち日本は3人でした。彼らと分科会で色々な話をする機会を得ました。どうしてローターアクトに入ったのか聞いてみました。その答えを聞いて感動しました。20代の女の子ですが、「わたしは奉仕がしたかったからです。」と答えたのです。自分が20代の時、奉仕がしたいなんて考えたことはありません。しかし、その彼らと繋がりを持ち、話をして、どこかで交わることができるかもしれません。通常だとプログラムがたくさんあります。ロータリーでは、絶対にこれを避けては通れません。何故か。平均年齢70歳のクラブが、何の増強もしないでどなたもご逝去にならないで10年たったら、平均年齢80歳です。だから若い方を増強していかないと、続いていかなくなります。ローターアクトの他にも、インターアクトとか青少年交換など色々な事業があります。この中では、色々なハラスメントの問題、災害時にどうするかという問題など色々な問題に取り組むプログラムがあります。しかし私達は、そういう問題があるんだということをまず受け止めて、一つ一つの対処法をしっかり学んで認識を高めていく必要があると思います。

ここから少し難しい話で、ロータリーの定義というのがあります。中核的価値観として、奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップの5つがあります。これが2018年の国際協議会で、ビジョン声明という形で発表されました。「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」というものです。これが、先ほどの5つの中核的価値観を入れて簡単に表したロータリーの定義だと思っています。これを受けてロータリーは、戦略的計画を立てるということで4つあります。まず、より大きなインパクトを与えましょ

うということです。例えば公共イメージの向上ですが、ロータリーの活動が新聞やテレビに出ます。これに参加をする人の基盤を築くのです。若い人からお年寄りまで参加できるようなことで、尚且つ、参加者がそのプログラムに積極的に係わるような状況を作ります。そしてどんなものにも適応できる適応力を高めようということです。これらが、戦略的計画の流れです。

2017-18年、「ロータリー：変化をもたらす」といのが定義です。去年は「インスピレーションになろう」でした。よく分からないので考えました。“変化をもたらす”とは何をしたらいいのだろう。中々思いつかないうちに年が変わってしまいました。“インスピレーションになろう”これはロータリー頑張れって言っているのかな、こんなこともできるのかもしれないと考えると、今年のテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」です。これは、ロータリーを軸に人々が手を繋いで行動しましょうということです。これは、2019-20年度のミッションです。三年掛かって上手く戦略的計画に入ってしまったと思います。人々が手をつないで行動するには具体的にどうすればいいのか。まず、クラブや地区のリーダーが率先して事業に参加することです。そして、会員の維持と新会員の増強です。できれば、ローターアクターや40歳未満の若い会員がいいです。さっきも会長・幹事懇談会で30代の会員っていいですねという話がありました。地区幹事の近澤さんは30代ですが、今度は彼らが率先して会員を増強していく立場です。なかなか難しいことです。マローニーさんは、じゃあ新しいクラブを作ろうよと言われますが。今は簡単で、8人いて規約を作れば簡単にクラブができてしまいます。一度チャレンジしてみる価値はあるかもしれません。

それから、ロータリークラブに関わっているローターアクトやインターアクトの若い人達と、私達ロータリークラブ会員との間の積極的な参加の協力や、青年会議所や商工会議所の青年部などとの交流も非常に有意義だと思います。どこと付き合うかは分かったので、行動するにはどうしたらいいか。まず、現在の最重要課題はポリオです。7月1日から「ポリオ撲滅」ではなくて「ポリオ根絶」になりました。そのポリオ根絶のために、ロータリーが今まで果たしてきたこと。これは説明するだけでも行動です。ナイジェリアは、来月の26日が来ると満3年ポリオの発症がなくポリオフリーの国になります。そうすると、後はパキスタンとアフガニスタンだけになります。あと少しなのですが、これがなかなか難しいのです。まだまだ労力もお金もかかります。先日のロータリー財団研修セミナーで、ポリオの特別講演をして頂きました。お聞き頂いた方は、ぜひクラブでもそのお話をして頂きたいと思います。

他には、ロータリーの補助金を使って色々な活

動をしましょう。プロジェクトを増やしていくことがロータリーや財団への貢献に繋がっていくと思います。

今年の4月にシカゴで2019年規定審議会がありました。今まで、例会の前後14日間でメイクアップをすればよかったのが、メイクアップはその年度内に行えばよいということになりました。出席率の報告はいりません。年度末の報告だけでいいです。メイクアップの方法はクラブで決めて下さい。そうするとクラブによってバラバラな形式になりますので、毎月の出席率が集計できません。年度末に一年間の出席率だけ報告して下さい。

どんな状況が私達の周りで起ころうが、中核的価値観やビジョン声明を忘れなければロータリーは変わりません。皆さんが、より居心地の良いロータリーを目指したい。ロータリーと一緒に成長させましょう。それには、私達だけではなく家族や若い人達との繋がりを大切にして会員の基盤を強化しましょう。もう少しのところまで来ているポリオ根絶に立ち上がりましょう。世界的にポリオは長く続いてきたので、世界中のロータリアンがポリオの寄付に対して疲れています。国際協議会でみんながそれを訴えています。実は、ロータリー財団が初めて寄付をしたのが1930年です。ポリオに罹って非常に困っている子供達の協会に寄付をしました。今は2019年なので90年近く、ロータリーはポリオと戦っています。これを何とか終結させましょう。ロータリー財団の奉仕金を活用して有意義な事業をしましょう。そして寄付をしましょう。

いよいよ私達のロータリークラブが、ロータリーの理念に基づき、自由に主導権を握ってロータリー活動をする時がやって来たと私は感じています。皆さんの家族が、事業所が、そしてクラブが生き生きとロータリーを楽しまれ、この地区にあるロータリークラブの数だけ素敵な花を咲かせて、総天然色の2630地区にしたいと思います。ありがとうございました。

地区大会PR ・西村昭彦地区大会実行委員長

お時間を頂きましてありがとうございます。私は16年ほど前に郡上のどこかのクラブの例会にお礼に伺ったことがあります。その時の食事を覚えているのですがお鍋だったんです。皆さんでお鍋を囲まれて一緒に食べるという昼食を鮮明に覚えています。

肝心なお話をさせていただきます。11月16日、17日と三重県の津市で地区大会を開催させていただきます。一日目は岐阜県出身の所功先生に講演をして頂きます。元号が変わった最初の年なので非常にタイムリーで、元号にまつわる話や日本文化の発展について詳しくお話しして頂けるとと思います。どうぞ皆様ご期待ください。2日目は、昭和・平成の大女優、倍賞千恵子さんをお招きしてお話を

して頂きます。とても良いお話が聞けると思いますが。

最後に、今年度の地区大会は大晚餐会という形は取らずに、参加して頂いた方全員でRI会長代理を囲んで「総天然色大食堂」といった形を取ります。お断わりを申し上げますが、十分なことはできません。みんなで一緒に食事をして、地区大会を祝って頂ければという趣旨で催したいと思いません。ぜひ皆さん揃って「総天然色大食堂」にお出かけ下さい。よろしくお祈りします。

閉会点鐘 村土時男会長(郡上八幡RC)



2クラブ合同会長・幹事懇談会出席者